

プロジェクト名	国名非公開／無線ネットワークの高度化に関する実証事業
企業名	ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社
事業実施国	非公開（ASEAN地域）
類型	類型1・類型2・類型3

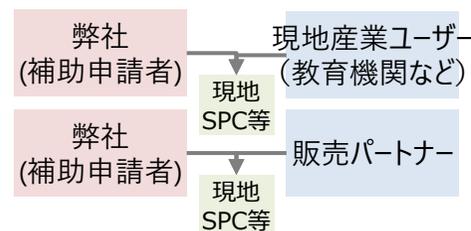
事業概要

【想定事業スキーム】

実証フェーズ



事業化フェーズ



【概要】既存利用者との調整難航により周波数が枯渇するASEAN諸国に対し、日米欧で社会実装実績のある無線高度化技術を導入し、既存システムを保護しながら、新規システムへの周波数割り当てを段階的に進めることで社会全体での無線の有効活用を促進

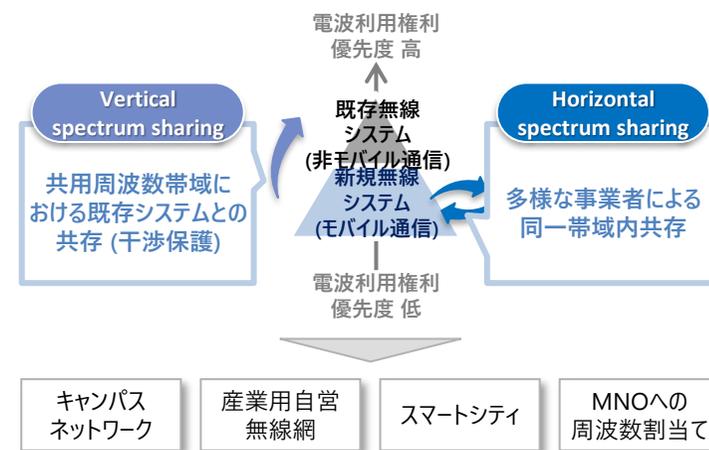
【実証事業の総経費】

補助対象経費20.7億円

【スケジュール】

- ① 事業性検証に基づく丁寧なオピニオン形成
2025年4月～12月
- ② 商用展開に必要なエビデンスと運用設計の確立
2025年10月～2027年9月
- ③ 事業環境構築
2025年4月～2028年3月

DSA技術で実現できる事業の全体像



本事業が我が国のイノベーション創出に裨益するポイント

- ✓ 日本の無線行政の制度設計への活用 (6GHz帯でのAFC制度化)
- ✓ 日本国内の無線機器ベンダの競争力向上 (共用技術への対応)
- ✓ 次世代ネットワーク標準 6G の確立に向けた日本のプレゼンス向上

結果生み出される国内雇用・投資効果等

- ✓ 共用システムのAPI整備による無線機器等の技術革新の促進
- ✓ DSA対応無線機器の当該国・地域への輸出増 (15.7億円: FY30時点)
- ✓ 6G時代のネットワーク標準確立に向けたグローバルリーダーシップ向上

●注視すべき他国政府等の支援スキーム（あれば）

中国政府は「デジタル・シルクロード」構想の一環として、ASEAN諸国への5G技術提供を支援。ファーウェイなどの中国企業は安価な通信機器を提供し、ASEAN各国政府と技術開発に関する覚書を結んでいる。

●その他留意事項（あれば）

5GとWi-Fiをハイブリッドに制御できる商用グレードのDSAシステムを保有するのは、現時点で当社含め世界で2社のみ。現地政府の要人（通信大臣、高等教育大臣、等）からのバックアップも得ながら、実証環境の準備を進めてきた。